

令和8年度 高須学区LMO事業計画書

1 今年度の目標

昨年度に進めることができた拠点の整備や事業実施に向けた調整をベースとしながら、今年度は「ひとつの高須」へ向けて高須学区まちづくり計画に掲げる地域の生活課題の解決に資する具体的な事業に着手したい。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	とんど	(6)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__9年__1月__頃	
(2) 実施場所	高須学区内	
(3) 参加者数	__100__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__高須学区LMO__	
4 取組内容		
高須学区の各自治会と各団体が連携・協力して行う、とんど祭りを開催する。とんどのやぐらや土台を組んだり、豚汁の炊き出しを行う。		
5 目的・効果		
(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) こどもから高齢者まで一緒に関わることで、地域の絆が深まる。「とんど」を次の世代に伝える役割がある。		
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 町内会加入者が少なくなる中、顔の見える関係づくりやつながりを深める効果が見込まれる。		

(2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業)

1 事業名	移動支援事業	(6)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	高須学区内	
(3) 参加者数	__100__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__高須学区LMO__	
4 取組内容	高須と高須台をつなぐ交通手段の検討や駐車場の確保など、地域に不可欠な課題解決に取り組み、学区内の移動を支援する。これにより、住民の移動負担を軽減し、多世代・地域間の交流をより一層促進する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地理的な分断が既存イベントの参加を阻害しているため、交通手段の検討や駐車場の確保など、移動を支援することで、住民の移動負担を軽減し、多世代・地域間の交流をより一層促進する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 移動課題の解消・改善により、これまで参加が困難であった住民の行事参加を促すとともに、多世代が参加しやすい環境を整えることで、地域内交流のさらなる活性化を図る。また、平時からの移動支援体制の構築は、緊急事態発生時における迅速な避難や互助対応など、地域の防災・減災力向上にも寄与する。	

(2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業)

1 事業名	交流促進のための広報推進事業	(6)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ～ 令和__9年__3月31日	
(2) 実施場所	高須学区内	
(3) 参加者数	__1,000__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__高須学区LMO__	
4 取組内容	地域情報の発信を充実させるため、地域主催イベントのバナーやチラシ作成等を支援する。これにより、各手段体の活動内容を広く住民に周知して情報共有を図るとともに、多くの団体と連携して地域課題の解決に寄与することを目的とする。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地域情報の発信を充実させるため、地域主催イベントのバナーやチラシ作成等を支援する。これにより、各種団体の活動内容を広く住民に周知して情報共有を図るとともに、多くの団体と連携して地域課題の解決に寄与することを目的とする。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 本事業により、地域住民が世代を超えて受け継がれてきた行事や組織活動への理解を深めることができ、地域文化の継承や発展、ひいては地域活動のさらなる活性化に資する効果が期待できる。	

(2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業)

1 事業名	地域食堂の開設	(6)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__7月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	高須台集会所・高須会館	
(3) 参加者数	__400__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__高須学区LMO__	
4 取組内容	○カレーライスを主に食事を提供する場を設ける。 ○高須学区LMO主催で、民生・女性会・母親クラブ共催とする。 ○月1回の定期開催とする。 ○高須台集会所と高須会館で隔月開催とする。 ○開催に合わせて、ボランティアを募集し人員を確保する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ○ 高須地区の地域間や世代間の交流の場が少ないので、高須学区LMOを主体に地域食堂を開催して恒常的な交流の場にする。 ○ ボランティアを募集し、地域活動への取組に参加を促す。 ○ フレイル予防の観点から、社会参加の機会を創出する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ○ 恒常的な交流の場を設けることにより、地域間・世代間の交流を促進するとともに新しい交流方法も模索する。 ○ ボランティアを募集することとフレイル予防により、地域活動参加の機会を創出するほか、災害発生時の緊急対応への人材が確保できる。	

(2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業)

1 事業名	勉強会の実施	(6)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(13) 地域課題等の把握に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__7月__1日 ~ 令和__9年__3月__31日	
(2) 実施場所	高須台集会所・高須会館	
(3) 参加者数	__100__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__高須学区LMO__	
4 取組内容	○防災・交通安全・情報発信・新たな担い手の発掘等に関して、専門家を招聘して時代に則したものだが、全住民・全世代に対応できるシステムの構築を目指す。 ○区役所や区社協・市社協と協議して各分野の専門家を選定する。 ○各分野に関係する構成団体の間で各課題の問題点・疑問点を整合する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ○ 各課題の解決に関して、全住民への伝達方法の確立と、各構成団体においての知識不足の解消を目指す。 ○ 専門家を招聘することにより専門知識の共有によってより掘り下げた議論が出来る。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ○ 関係する構成団体間での、各課題への認識の共有でき、地域間・世代間の認識の齟齬の解消をはかることが出来る。 ○ 構成団体間での連携により、より実務的な対応をとることが出来る。	

(2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業)

1 事業名	ボランティア活動促進事業	(6)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年__4月__1日 ~ 令和__9年__3月31日	
(2) 実施場所	高須学区内	
(3) 参加者数	__1,000__ 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名__高須学区LMO__	
4 取組内容	LMOが実施する各地域事業(移動支援、多世代交流イベント等)に従事するボランティアスタッフおよび参加者を対象に、一括してボランティア保険への加入手続きを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 各地域活動における事故や賠償リスクへの補償体制を確立し、ボランティアや住民が安心して活動に参加できる環境を整えること。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 万が一の際の組織・個人の負担を軽減するとともに、安全な環境づくりにより、地域活動への住民参加と互助の活性化を促進する。	

3 自主財源で実施する事業

無し